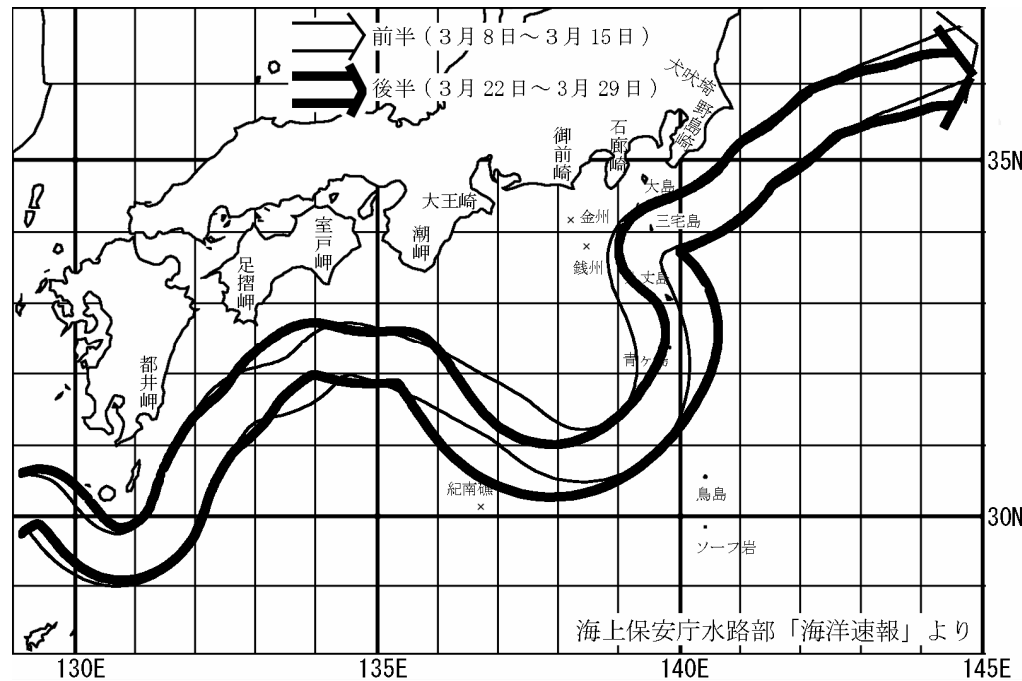


漁海況月報

平成 17 年 3 月 1 日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-4815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



[黒潮流路]

黒潮は、月を通じて遠州灘沖の 31°N 付近まで大きく離岸し伊豆諸島海域を北上後、房総半島に接岸気味に流れた (A 型)。蛇行流路で経過しつつも小規模変動を示し、後半には伊豆諸島南部で北上位置が東偏し同諸島北部で S 字状の流路となった。蛇行北上部からは伊豆半島及び遠州灘にかけて 17~18 台の暖水が波及した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では 13~15 台、駿河湾東部では 13~15 台、駿河湾西部では 11~15 台で経過した。相模湾及び駿河湾東部では中旬以降は平年よりやや低めで経過し、駿河湾西部では概ね高め基調の平年並みで経過した。

[竿釣近海カツオ]

3 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 470 トンで前年同期の 64% であった。魚価は 327 円/kg で、前年同期を下回った。

中型竿釣船の記録 (QRY) 及び御前崎市場での調査によれば、3 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬：24°~26°N, 135°~138°E 及び 34°N, 140°E 付近で、特特大、小、極小、特大、中、大カツオを漁獲した。

中旬：34°N, 140°E 付近及び 25°~27°N, 140°E で、特特大、特大、極小、小、大、中カツオを漁獲した。

下旬：25°~28°N, 140°~143E で、特特大、特大、大、中、小、極小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
17 年 3 月上旬	253	20	12.7	258
中 旬	69	16	4.3	423
下 旬	148	18	8.2	402
17 年 3 月計	470	54	8.7	327
16 年 3 月計	731	65	11.2	467
15 年 3 月計	1,591	67	23.7	220

[まき網]

小川港では、マイワシは 49.2 トン水揚され、平年同期 (過去 5 か年平均 : 33.4 トン) の 147% と好調であった。カタクチイワシは 69.2 トン水揚され、平年同期 (5.9 トン) と比べ好調であった。

沼津港では、マイワシは 54.3 トン水揚され、平年同期 (16.2 トン) の 335% と好調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは 0.6 トン水揚され、平年同期 (0.8 トン) の 78% と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

伊東港では、マイワシは水揚されなかった。カタクチイワシは 28.7 トン水揚された。

2005 年 3 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	13.8	14.4	14.4	14.9	14.9	14.6	12.1
	0.2	0.3	0.7	0.5	0.7	1.2	0.3
中 旬	13.6	14.1	13.8	14.7	14.5	14.8	12.8
	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-0.3	0.9	0.4
下 旬	13.5	14.0	14.1	14.3	14.3	14.5	13.2
	-0.7	-0.5	-0.2	-0.9	-1.0	0.2	0.0
月平均	13.6	14.1	14.1	14.6	14.6	14.6	12.7
	-0.2	-0.2	0.1	-0.2	-0.2	0.7	0.2

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバが9.5トン、ゴマサバが258トン水揚された。漁場は鵜渡根島近海を中心に、上旬には三宅、下旬には新島近海にも形成され、マサバでは尾叉長25～30cm、ゴマサバでは尾叉長21～25cmの大きさものが主に漁獲された。1kg当たりの平均単価はマサバでは179円、ゴマサバでは47円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	74	1	3	24.5	三宅、鵜渡根島
3月 中旬	98	3	9	10.9	鵜渡根島、新島
下旬	96	2	9	10.7	鵜渡根島、新島
計	268	9	21	12.8	- - - - -
平成16年3月	884	11	42	21.0	三宅、高瀬
平成15年3月	1,035	12	69	15.0	三宅、三本

[シラス船曳網]

平成17年シラス漁期は3月21日に初漁を迎えた。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で69kg、遠州灘で127kgだった。主要6港平均では107kgと前年同期(104kg)の103%、平年同期(過去5か年平均:106kg)の101%であった。3月の総水揚量は39.6トンと、前年同期(23.1トン)の172%、平年同期(21.1トン)の188%に当り、前年、平年ともに上回った。平均単価は1,249円/kgと平年同期(771円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.8	3	35	79	1,469
舞 阪	17.6	4	107	165	1,101
福 田	4.6	3	71	65	1,259
御前崎	5.5	3	27	204	1,550
吉 田	2.7	2	52	51	1,735
静 岡	6.4	4	80	80	1,097
平成17年3月計	39.6	-	372	107	1,249
平成16年3月計	23.1	-	223	104	902
平成15年3月計	22.9	-	151	151	530

[定置網]

平成17年3月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は364トンであった。1漁場当たり水揚量45.5トンは、前年22.8トンの2.0倍、平年値(昭和57～平成16年平均値)44.7トンとほぼ同等であった。

魚種別にみると、マアジ146.9トン(前年の3.2倍、平年の1.5倍) カタクチイワシ99.8トン(前年の2.0倍、平年の1.6倍) プリ44.6トン(前年の2.8倍、平年の2.7倍) サバ類41.2トン(前年の14.0倍、平年の1.6倍) スルメイカ10.4トン(前年の26%、平年の50%)の順に多かった。

マアジは川奈、北川を中心に入網し、3月の伊豆半島東岸大型定置網8か統全漁獲量の40%を占め、尾叉長の中心は17～19cmであった。カタクチイワシは川奈、富戸、谷津を中心に入網し、3漁場を合わせると、カタクチイワシ全漁獲量の69%を占め、被鱗体長の中心は11～12cmであった。プリは富戸、川奈を中心に入網し、この2漁場でプリ全漁獲量の89%を占め、6.5kg前後のものが中心であった。サバ類はゴマサバが多く、北川を中心に入網し、尾叉長の中心は23～27cmであった。スルメイカは富戸、北川を中心に入網し、外套背長のモードは21cmであった。

漁場別水揚量は、マアジ及びカタクチイワシの漁獲が多かった川奈(104トン)、マアジ及びサバ類の漁獲が多かった北川(91.7トン)、カタクチイワシ及びプリの漁獲が多かった富戸(74.3トン)の順であった。

[調査船の動向]

富 士 丸

3月28日 定期検査及びペンドック工事終了により焼津港に回航(1日間)

駿 河 丸

3月1～2日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)

3月7～8日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(2日間)

3月9日 ペンドック工事のため清港ドックに回航(1日間)

3月28日 ペンドック工事終了により小川港に回航(1日間)